

1 発生状況

- ・6月中旬頃から黒星病の発生を確認した園地が増え、14園地中、11園地で黒星病の発生を確認しました(図1)。6月23日の多雨(133.5mm、5月の日降水量歴代3位、アメダス魚津)で感染が拡大したと考えられます。

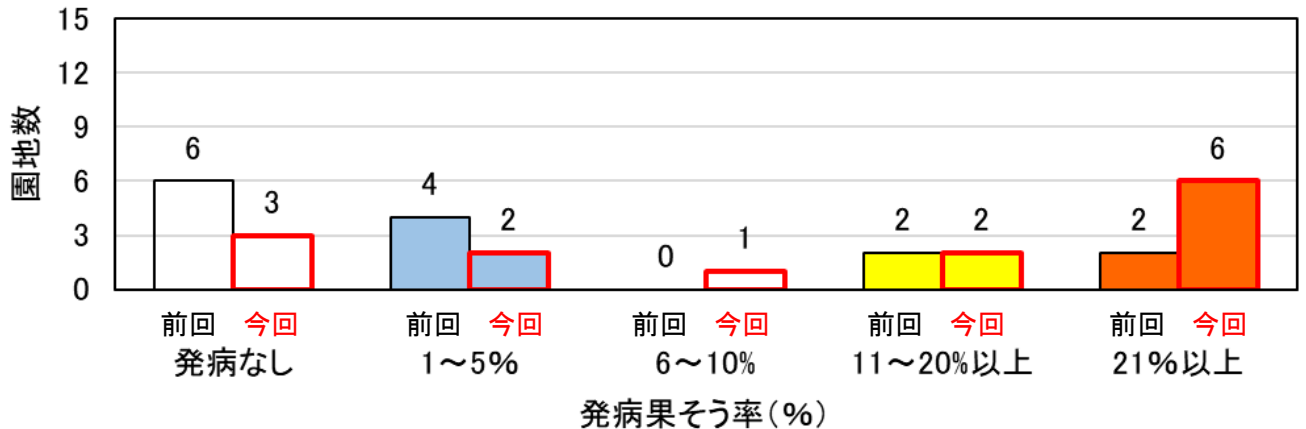


図1 発生状況

2 発病が確認できる5月中旬から収穫までの発病果そう率の推移

- ・7月中旬の平均発病果そう率は、18.7%で、R1年以降、最も高くなりました。

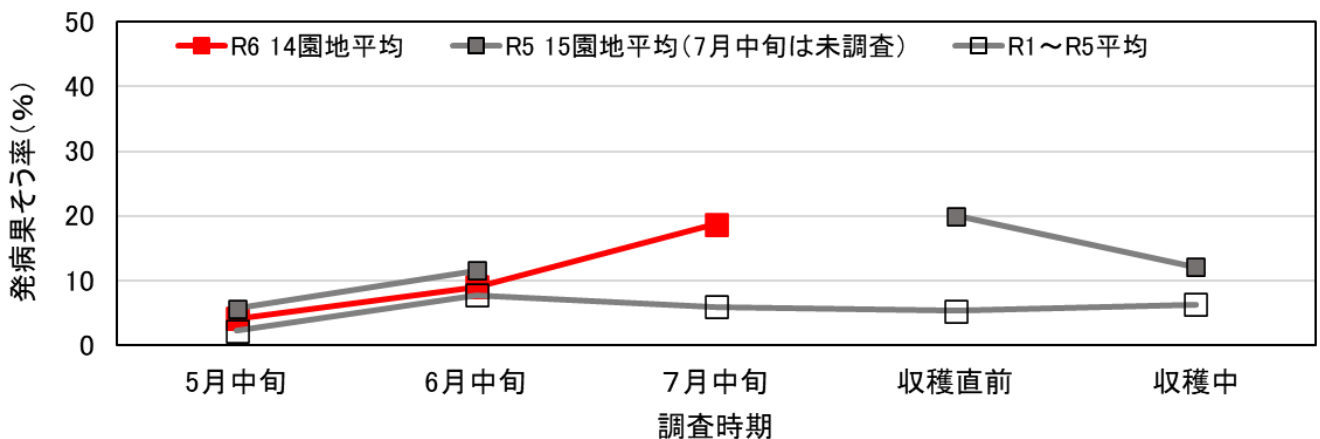


図2 発病が確認できる5月中旬から収穫までの発病果そう率の推移

3 発病部位

- ・被害は果そう葉で多く見られましたが、新梢での発生が前回より増えました(図3)。

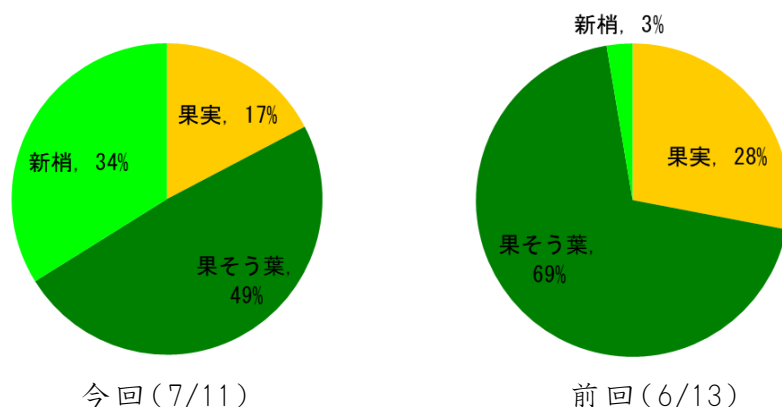


図3 発病部位